

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習Ⅰ（保育）	1	後期	実習	4	神崎 光彦
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 乳幼児との関わりを通して、子どもの実態や課題を把握することができる。</p> <p>(2) 指導保育者等の保育について、視点を持って観察し、事実を即して記録することができる。</p> <p>(3) 保育実習園の経営方針及び保育方針、特色ある保育活動について理解している。</p> <p>(4) 保育に必要な基礎的技術（声かけ、保育展開、環境構成等）を身につけることができる。</p> <p>(5) 保育者の役割と職務内容を実地に即して理解している。</p> <p>(6) 様々な活動の場面で適切に乳幼児と関わるすることができる。</p> <p>(7) 保育所における子育て支援について理解している。</p>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>保育実習Ⅰ（保育）は、保育士資格取得上、必修の実習である。保育所における保育実習では、乳幼児や保育環境等に対して適切な観察を行うとともに、実際の保育者の職務内容を体験することを通して、実習園の乳幼児の実態とこれを踏まえた保育方針および特色ある保育活動について理解する。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>10日間の実習期間を通して、下記の内容について理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの姿（発達の過程や状況、特性）を学ぶ。 2. 子どもの生活の実態および保育所保育の実際を理解する。 3. 子どもとの関わりによって、保育者としての自覚をもつ。 4. 保育者の職務内容や適切な援助について学ぶ。 5. 実習記録を通して日々の実習を振り返り、自己課題を明らかにする。 <p>【事前学修】 実習園について理解を深めるとともに、実習に必要な知識や技能の向上を目指して、実習記録の記載などに取り組む。</p> <p>【事後学修】 実習を振り返り、自己の課題や問題点などについて省察し、ノート等にまとめる。実習記録を整え、実習園と養成校担当教員に提出する。</p>					
<p>○ 参考書・参考資料等</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館</p>					
<p>○ 学生に対する評価</p> <p>実習園の評価60% 実習記録40%</p>					